

令和 7 年度 自己評価報告書

令和 8 年 3 月 31 日
アンビシャス国際美容学校

目次

I. 学校の現況.....	1 ページ
II. 評価の基本方針.....	2 ページ
III. 重点目標.....	3 ページ
IV. 項目毎の記述.....	4～8 ページ

I. 学校の現況

(1) 学校名 アンビシャス国際美容学校

(2) 所在地 大分県大分市大字市 551 番地

(3) 沿革 2003 年 『ワールドビューティーアカデミー』開校（大分市新明治）

（厚生労働大臣指定 美容師養成施設）

2004 年 『アンビシャス国際美容学校』に校名変更

2007 年 わさだエリアに校舎を新設移転（大分市市）

2010 年 大分県知事の認可を受け専修学校に移行

2013 年 創立 10 周年 記念事業実施

・「アンビシャス国際美容学校同窓会」発足

2018 年 創立 15 周年 「超美容師特化型カリキュラム」始動

・「AMBI 祭」会場をトキハわさだタウンへ

2019 年 高等教育の修学支援新制度の対象校に認定

2021 年 文部科学大臣より職業実践専門課程に認定

(4) 学科の構成

美容科 昼間課程 ／ 美容科 通信課程（春期・秋期）

(5) 学生数及び教職員数(2026 年 3 月 1 日時点)

学生数	美容科 昼間課程	23 名
	美容科 通信課程	36 名
教職員数	専任教員	6 名
	兼任教員	6 名

(6) 施設の概要

普通教室 2、実習室 1、消毒室 1、多目的室 1、図書室 1、職員室 1、理事長室 1、医務室 1

II. 評価の基本方針

(1) 学校評価への取り組み

学校が実践的な職業教育等を目的として自らの教育活動やその他の学校運営について、関係業界等のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、学校関係者等への適切な説明責任を果たすとともに理解と参画を得ることで、連携と協力による特色ある学校づくりを進める。

これにより、学生が質の高い実践的な職業教育等を享受できるよう、学校運営の改善と充実を目指すための取り組み。

(2) 自己評価

評価項目・指標等を設定し、また外部アンケート等を活用し、自己評価を実施する。

【自己評価項目】

- 教育理念・目的・人財育成像
- 学校運営
- 教育活動
- 学修成果
- 学生支援
- 教育環境
- 学生の受入れ募集
- 財務
- 法令等の遵守
- 社会貢献・地域貢献

【外部アンケート】

- 在校生アンケート（学校生活に関するアンケート・授業アンケート）
- 卒業生アンケート
- 就職先アンケート

(3) 学校関係者評価

学校関係者を選任し、学校の諸活動の観察等を通じて、当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価を実施する。

III. 重点目標

(1) 重点目標

昼間・通信の区別なく国家試験全員合格を当たり前に！

① 2024 年度には、目標を達成すべく拡大会議を 2 回開催した。

2025 年度は、その会議内容を授業に反映することで、目標を達成する。！

② 通信課程の整備

2024 年度の整備内容にあった②出欠席の管理、③補講の管理は整いつつある。

残りの①スクーリング実施方法については、月曜休校日を減らすことで実施日を均し、
国家試験直前にもしっかり対策ができるように実施する。

国家試験直前には、受験生対策の授業編成とすることで、④国家試験対策も確立させる。

(2) 取組状況・成果

①習得状況に応じて徹底した個別対応を取ることができた。

②スクーリング日が増えたことで、国家試験受験年度の者とそうでない者と区別して対策指導をすることができた。また、筆記対策資料の配布など、筆記対策の体制を整えることができた。

※国家試験結果・・・昼間課程：全員合格 通信課程：1 名不合格(実技)

(3) 課題

①ここ数年『全員合格を当たり前に！』と目標に掲げて、考えられる状況への対応が今年度である程度取ることができた。全員合格も連続中であるから、大きな課題はない。一方で、油断しないように次年度取り組まなければならない。

②春入学生と秋入学生とで国家試験の受験時期が異なる。昼間課程と同時期の春入学生は昼間生と同レベルの指導を同時に行うことができるが、受験時期が異なる秋入学生へ同レベルの指導を行う体制を構築する必要がある。

(4) 今後の取組

①連絡会議を学期ごとに開催し、教職員の連携を強化する。

②秋入学生が国家試験の見極め試験を受けれる回数を春入学生と同様になるよう試験日を設ける。

IV. 項目毎の記述

(1) 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人財像・育成目標は定められているか。	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人財像・目標などが、職員・学生・業界関係者・保護者等に周知がなされているか。	4	③	2	1
社会や業界のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	④	3	2	1

①課題

周知にも努めており、それらをもとに学生個人の目標設定など指導しているが、日々の行動への落とし込みまでは不十分である。

②今後の改善方策

これまで通り、理念にある行動指針をもとに学期ごとの行動目標を設定させることで、浸透を図る。

③特記事項

今年度、例年になく対応が難しい学生が数名おり、指導に苦労した。外部からのお叱りを受けることも度々であったし、理想の姿とは言えなかったが、皆卒業し、皆国家試験に合格することができたことは、大きな成果だった。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念等に沿った運営方針が定められているか。	4	③	2	1
運営方針を実践するための事業計画が策定されているか。	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は明確化されているか、また有効に機能しているか。	4	③	2	1

①課題

定めは十分だが、定めに立ち返るよりは、その場の判断になってしまうこともある。教職員の移動で体制が定まらない。

②今後の改善方策

教職員の態勢も個別対応なども取れるようになったので、少人数制の学校ならではの指導を行っていきたい。

③特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
育成目標を達成するための修業年限に応じた教育到達レベルは明確にされているか。	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等との連携によるカリキュラムの開発・作成が行われているか。	4	③	2	1
学生の現状や業界のニーズにより、教育方法の工夫・見直しが行われているか。	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか。	④	3	2	1
成績評価、進級・卒業の認定基準は明確かつ適切に運用されているか。	④	3	2	1
育成目標を達成することができる要件を備えた教員が確保されているか。	④	3	2	1

①課題

専門的な教育以外の生活指導などが必要な学生が増えてきた。

②今後の改善方策

『美容の専門教育に集中できる』学習環境となるような指導を軸に行う。

③特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職指導計画が策定され、就職率の向上が図られているか。	4	③	2	1
資格取得指導計画が策定され、資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2	1
卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	③	2	1

①課題

卒業生および就職先アンケートの回答率を上げるために、今年後スマホから回答できるようにしたが、逆に回答率が下がってしまった。(意外であった。)

②今後の改善方策

アンケートは紙に戻す。

卒業生が授業の講師を務めてくれることは、学生にとっても卒業生にとっても刺激になるようなので、今後も卒業生と在校生の接触を増やしていきたい。

③特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路に関する支援体制は整備されているか。	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか。	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか。	4	③	2	1

①課題

先の記述にもあるように、本来の美容の専門的教育以外の支援が必要な学生が増加している。

②今後の改善方策

引き続き、学期ごとの担任面談と進路面談を実施し、必要に応じて家庭とも積極的に連携していく。

③特記事項

(1)にもあるが、指導が難しい学生が多い年度であったので、教員も学年担当や教科担当を超えて連携し、さらには家庭や就職先など、あらゆる手を尽くして卒業・国家試験合格までたどり着けた。これは学校としても経験値を上げることができたので、これを糧に幅広く対応できると考えている。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	③	2	1
学外実習等に関する体制は整備されているか。	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか。	4	③	2	1

①課題

校舎の築年数が経過してきているので、あちこちに傷みが出てきている。本当に細かな修理を度々している状態にある。

②今後の改善方策

変わらず、施設や備品は、都度修理や入れ替えを行う。

③特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか。	4	3	②	1
学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか。	4	3	②	1
学納金は妥当であるか。	4	③	2	1

①課題

高校生の応募が増えた。しかし、何かをした成果なのか理由がわからない。

②今後の改善方策

学校規模に合った募集活動を行う。

③特記事項

高校の新規卒業者向けには、給付型の奨学金や多子世帯への支援が受けられる対象校の認定を受けており、利用する学生も多い。

また、社会人向けには、公共職業訓練や教育訓練給付制度の指定もを受けており、こちらでも毎年度利用者がいる。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2	1
学生数変動に応じた計画が組まれているか。	4	③	2	1

①課題

若干ではあるが入学生も増えており、大きな出費もないので問題ない。

②今後の改善方策

学校規模に合った経営をしていく。

③特記事項

変わらず借金はない。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	③	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	③	2	1

①課題

令和8年度から学校教育法が改正されるが、準備は整っており問題はない。

②今後の改善方策

関係機関と連携して、継続して努めていく。

③特記事項

学校評価委員会は書面にて評価を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	③	2	1
地域に根差した学校となるための活動を積極的に実施しているか。	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4	③	2	1

①課題

特記事項にある地域交流が恒例化しており、順調なので問題ない。

②今後の改善方策

地域に受け入れられてこそその学校なので、今後も活動が続ける。

③特記事項

主な地域交流…毎月の清掃活動、火群まつりのヘアアレンジ（わっタンにて）、AMBI祭 in わっタン、保育園や養護施設、学童保育との交流

令和 7 年度
学校関係者評価報告書

令和 8 年 4 月 30 日
アンビシャス国際美容学校

1. 学校関係者評価委員

《美容関連企業》

株式会社エフ・ワイ・シー 取締役 久保田努

有限会社ブームコーポレーション 代表取締役 久保真哉

said. hair and lifestyle 代表 近藤孝則（卒業生）

《地域協力企業》

有限会社ぶんどろ 代表 分藤貴弘

2. 令和 7 年度年度の委員活動等

4 月 校長が各委員へ当該年度の取り組みを個別に説明。

4 月 10 日他 久保委員が 2 年生を対象に授業『デザインカット』『デザインカラー』を実施

10 月 31 日 各委員が校内コンテスト『AMBI 杯』に審査員として参加。

翌 4 月 書面による学校関係者評価を実施。

3. 令和 7 年度 学校関係者評価報告

以下の項目についての評価結果は別紙の通り。

I. 学校の現況

II. 評価の基本方針

III. 重点目標

IV. 項目毎の記述

V. その他

I. 学校の現況について

通信生が多くなり、活気あふれる学校としてこれから益々の繁栄を期待する。

教育内容や環境について、継続的に評価している。卒業生を受け入れているが、技術習得への姿勢や協調性を持った人材が育っていると感じている。今後も、サロンとの連携を深めながら、即戦力だけでなく長く活躍できる美容師の育成に期待している。

長年にわたり地域に根差した美容教育を継続し、時代に合わせながら取り組みを継続しているが貴校のすごいところだと思っている。

II. 評価の基本方針について

素晴らしい評価方針だ。

自己評価と関係者評価を通じた継続的な改善姿勢を評価している。卒業生を継続的に採用しているが、現場適応力や成長意欲を感じる場面が多くある。今後も、業界ニーズに対応した教育と人材育成を期待している。

自己評価だけでなく、学生や就職先サロンのアンケートも取り入れながら改善につなげようという点は重要であるし、リアルな意見もあり、現況がわかりやすい。

III. 重点目標について

(1) 重点目標

「国家試験全員合格は当たり前！」の目標は、とても素晴らしいと思う。いつまでもその目標を追及し、毎年結果に反映し続けることを期待する。

国家試験合格を高い水準で維持するための目標設定はとても良く、教育の質向上への思いが強く感じられる。

通信課程についても、受験の時期や学習状況に合わせた教育体制を整備しようとする方向性を評価する。

国家試験の全員合格を目標に、昼間・通信の区別なく取り組んでいる点が良い。

拡大会議の内容を授業に反映しながら改善を行っていることや、通信課程に対しても細やかな管理体制を整えようとしていることは、なかなかできることではないと思うので、さすがだと思う。

(2) 取組状況・成果

これからも成果に期待する。

個別での対応やスクーリング体制の見直しによる国家試験対策が、成果に繋がっていると感じる。入社してきた卒業生を見ても、技術習得への姿勢や基礎力を備えた人材が育成されている印象がある。継続した改善活動を評価したい。

習得状況に応じた対応や、国家試験対策を細かく行えている点が評価できる。筆記対策資料の配布など、学生たちが安心して学べる環境づくりに取り組まれている印象がある。

アンケートの意見にあるが、国家試験対策の中で解説の時間を充実させるともっとよくなると考える。

通信生の1名不合格は残念だが、昼間生の全員合格という結果は、継続的な指導体制の成果である。

(3) 課題

課題克服に期待する。

国家試験合格は重要な成果である一方、今後は、合格後の現場定着や主体性、接客力など、実務で長く活躍できる力の育成もさらに重要になると考える。

課程や入学時期による教育機会の差が生じない体制整備に期待したい。

毎年の課題であるが、学生ごとの学習状況やモチベーションに差が出やすい時代でもあるから、継続的なフォロー体制や個別対応の強化が必要である。

国家試験対策だけでなく、実際のサロン現場で必要となる接客力や発信力なども今後さらに重要性が高まると感じている。

(4) 今後の取組

素晴らしいと思う。今後も楽しみにしている。

引き続き、国家試験対策の質を維持しながらサロン現場との連携を深め、実践教育や職業観形成の強化に取り組んでいただきたい。

技術力だけでなく、人間力や社会人基礎力を育成できる教育環境の充実に期待している。

教職員間の連携強化や、学生が実践的に学べる環境づくりをすることで、卒業後に長く活躍できるような人材の育成に期待している。

IV. 項目毎の記述について

(1) 教育理念・目的・人財育成像

貴校の教育理念・目的・目標は素晴らしいと思う。あとは、理念や目的に沿った学校運営に期待する。

教育理念や育成人材像については、浸透しており、国家試験合格や個別支援の取り組みにも反映されていると感じる。実際に入社した社員も、基礎力や美容への理解が育成されている。今後も期待している。

教育理念や育成目標を明確にし、学生への指導へ反映しようと、常に試行錯誤しようとしている姿勢がすごい所だと思っている。しかし、「日々の行動への落とし込みが不十分」といった自己評価を毎年見るような気もしていて、せっかくの頑張りが学生に届かず自己満足のように捉えられてしまうと、すぐもったいなく感じてしまう。

(2) 学校運営

掲げられた改善点（少人数制の指導の成果）に期待する。

少人数制の特性を活かした柔軟な運営や学生への個別対応を評価している。

今後、教職員体制や教育環境の強化に期待する。

学生対応が多様化している時代だからこそ、少人数ならではの柔軟な対応や、教職員間で連携を取りながら今後も現場に合わせた臨機応変な運営に期待している。

(3) 教育活動

今後の改善方法で、より具体的な方法を教員及び学生にも認知してもらい、進めていけるとより強固なものになるのではないかと感じた。期待している。

国家試験対策や個別対応など、学生一人ひとりの状況に応じた教育活動をされていると感じる。実際、入社した社員も、技術だけでなく、学ぶ姿勢や基礎的な社会性が身に付いている印象がある。今後も業界の変化に対応した実践的な教育活動に期待している。

確かに専門的な教育でない部分を指導するための学校ではないが、美容師に限らず、社会に出る上でとても大切なことではあると思う。言葉遣いや生活態度など、見直す時間があってもよいのではないかと考える。

(4) 学修成果

今日までの卒業生との関係性がより深まることを期待する。

国家試験合格や卒業という成果だけでなく、その先の現場で活躍できる力の育成にも繋がっていると感じている。

今後も、技術力と人間力を兼ね備えた人材育成に期待している。

ディーラー主催のコンテストでも、今年はスマホからデータ送信して応募する形式をとったら参加者が極端に減ったと聞いた。意外と、書面と向き合う方が、やりやすいのかもしれない。

(5) 学生支援

毎年、様々な環境を持つ学生が入学するため課題が尽きないだろうが、学生に寄り添い、将来立派な美容師に繋がっていくことをこれからも期待する。

進路支援だけでなく、学生相談や家庭との連携まで丁寧に対応されている。

近年は、専門的教育以外の支援が必要な学生も増えるなか、教職員間や外部との連携により卒業・国家試験合格につなげている点を評価している。

周囲からお叱りを受けるなど指導に苦勞していると聞いていた学生が、無事に卒業して国家試験に合格したと学校の SNS で知って、先生方の並々ならぬ努力を感じた。まさに糧となると思う。

(6) 教育環境

施設や設備を維持しながら教育活動が行われている。施設の経年劣化への対応もされており、安全面や学習環境への配慮が見られる。

施設や設備を維持しながら、教育環境を整備し続けている点について評価できる。

築年数もうすぐ 20 年くらい経つと記憶しているので、限界があるかもしれないが、安全で学びやすい環境維持を今後も継続してもらいたい。

(7) 学生の受入れ募集

少し時代が変わりつつあること（ホワイトカラー→ブルーカラーへの流れ）が入学に追い風になっているのかもしれない。さらに課題を明確にし、今後の取組に期待する。

少人数制の特性や教育方針が伝わる募集活動が行われていると感じる。

美容業界の魅力発信や、卒業後の姿が見える広報活動を継続し、学校の特色や強みがより伝わる取り組みに期待する。

成果の理由は、これまでの積み重ねである。今後も、SNS なども含め、美容業界の魅力や学校の特色をより分かりやすく発信していくことが重要だと考える。

(8) 財務

安定した学校運営を継続するためには、計画的な財務管理が重要である。
教育環境や人材育成への投資を継続しながら健全で持続可能な運営体制の維持に期待している。
安定した学校運営を継続できている点で安心できる。
今後も学生数の変化に対応しながら教育環境の維持との両立に期待している。

(9) 法令等の遵守

特に問題ないと思う。
法令や設置基準等をふまえた適切な学校運営が継続されている。今後も、関係機関を連携しながら継続した改善活動を期待する。
自己評価など改善活動に継続的に取り組まれていることが、安定した教育環境の維持に繋がっている。
法令遵守や個人情報保護に対する意識を持って運営を続けていることは重要なことだ。
学校教育法改正前にしっかりと準備が整っている点で安心できる。

(10) 社会貢献・地域貢献

素晴らしい活動を継続できることを期待している。
地域交流やボランティア活動を行い、地域に根差した学校づくりを実践されている。
学生にとっても学外での経験は成長につながるので、今後も地域との関わりを大切に活動
を継続してほしい。
地域イベントやボランティア活動を継続して行っていることは、とても良い取り組みだ。
美容を通して地域と関わる経験は、学生にとっても大きな学びだと思うので、その価値を理解
してもらいつつ今後も継続してもらいたい。

V. その他、ご意見等

現在美容サロンから少し離れた立場から評価させていただいたが、これからも益々の繁栄を祈
念している。
評価委員として、継続して学校運営や教育活動を拝見しているが、学生一人ひとりに向き合う
姿勢や改善を続ける取り組みを評価している。
卒業生受け入れ企業としても、卒業後に現場で成長や活躍している姿を見る機会が多く、教育
成果を感じている。今後も、技術教育だけでなく、人間力や社会性、長く美容業界で活躍でき
る力を育む教育活動を期待している。
今年も資料を見させてもらって、先生方の学校をより良くしたい気持ちを強く感じた。時代の
風潮など、なかなかうまくいかないことも多いかと思うが、きっと伝わる人にはしっかり届く
と思うので、引き続き頑張ってもらいたい。
在校生のアンケートを見ると、学校生活が楽しいと思っている学生が多いようで、良いことだ。
これからも陰ながら応援している。